

一般社団法人 日本工業炉協会
会員企業各位

リジェネレイティブバーナの環境省 LD-Tech 水準表づくりのための WG 設置 及び WG 専門家募集のご案内

一般社団法人 日本工業炉協会
技術企画委員会

平素より当協会の事業にご協力賜り厚く御礼申し上げます。

掲題の件について、当協会技術企画委員会にて取りまとめましたので下記のとおり協会会員企業の皆様に関係する WG の設置及び当 WG にご参加される専門家の募集についてお知らせいたします。

記

1. 主旨

環境 LD-Tech 制度（環境省）において既にリストに掲載されているリジェネレイティブバーナの水準表づくりを行うために工業炉協会の技術企画委員会に WG を設置し、環境省に提出する水準表を作成するものです。

LD-Tech リストが掲載されている環境省ページ (https://www.env.go.jp/press/press_01002.html)

2. 環境 LD-Tech とは

環境 LD-Tech 制度とは、2050 年カーボンニュートラルに向けた先導的脱炭素化技術として、「環境省 LD-Tech」（※）をあらゆる部門において分野別に一覧化及び発信し、脱炭素化に向けた技術導入の際の参考となることを通じて、当該技術の普及の強力な推進を目指す事を目的とした制度です。

現在リジェネレイティブバーナはリストには掲載されておりますが水準化がなされておらず、現時点では当制度を利用することができない状態です。

※LD-Tech（エルディーテック）は、Leading Decarbonization Technology の略称。

環境省 LD-Tech の認証を受けた技術（製品）は、以下のメリットがあります。

- 環境省ウェブサイトにて公開（メーカー名など）
- 脱炭素化の取組を進める地方公共団体等に認証の機器として、積極的に情報提供を実施
- 補助金採択の要件の一つとなる可能性がある

3. 経緯

2022 年に環境 LD-Tech 制度（環境省所掌）において、リジェネレイティブバーナの水準化の認証提案を会員企業である中外炉工業が行いました。本件については 2022 年 11 月 28 日付の当協会 HP 会員向けニュースでも皆様に周知を図り、いくつかの会員企業様より内容に関するご提案を得ているところでございます。技術企画委員会においては、水準表づくりについては推進すべき内容であることを 2023 年 1 月の委員会で改めて確認し、水準表づくりのための WG を設置する準備に着手することいたしました。

（裏面につづく）

4. WG設置と専門家募集及び概略スケジュール案

当該水準表を工業会で取りまとめるためのWGを技術企画委員会に設置します。

日本工業炉協会会員企業のうち、本件に関連する会員企業の皆様から当WGに参加する専門委員を募集いたします。現状のWGのスケジュールは以下のとおりです。

- 1) WG参加者募集（全会員にむけて）…2月～3月
- 2) WGキックオフ 3月～4月
- 3) 数回のWG会議を経てまとめる（～6月ごろまで）

注記事項）本件は、現在のところ水準表については業界団体（日本工業炉協会）でまとめ、水準表の提出は中外炉工業が行うこととなっております。

5. 水準表原案について

中外炉工業が作成された原案（たたき台的なものです）は下記協会HPに掲載いたします。

<https://www.jifma.or.jp/member/news/member3606/>

6. 連絡先

当WGにご参加ご希望の会員企業の方、ご質問等は下記工業炉協会担当迄ご連絡願います。募集期間は現在から2023年3月13日（月）までを目途といたします。

日本工業炉協会 技術企画委員会

委員長 加納 利行（富士電機）

事務局 担当：高橋良治

電話：03-3861-0561

電子メール：ryouji_takahashi@jifma.or.jp